

平成24年度 三常任委員会行政視察報告

総務財政委員会

総務財政委員会（内野篤委員長）では、去る七月二十五日から二十六日の日程で東京都墨田区、神奈川県川崎市及び横浜市を訪問し、行政視察を行いました。

墨田区においては、①地域ブランド戦略、②雨水利用、③ごみ分類・リサイクル、④災害廃棄物受入に関する取り組みについて説明を受けました。雨水利用については、洪水対策、漏水対策、震災対策、環境対策としての必要性が明確にされ、区役所庁舎建築においても大規模タンクを設置するなど区役所自ら雨水利用を率先するとともに、雨水貯留槽設置に係る助成金を予算措置するなど区民と一体となって推進する仕組みが構築され



墨田清掃工場で説明を受ける総務財政委員会

ていることを確認できました。川崎市においては、①メガソーラー、②かわさきエコ暮らし未来館に関する取り組みについて説明を受けました。川崎市では公害問題を克服した歴史的経緯を踏まえ、環境保全と資源循環型社会の推進に向け、エコ暮らし未来館及びメガソーラー発電等による普及啓発事業の状況を確認できました。

横浜市においては、川井浄水場における①小水力発電、②PFI事業に関する取り組みについて説明を受けました。なかでも小水力発電の導入経緯と運用状況・課題等については、詳細な質疑が行われました。

経済民生委員会

経済民生委員会（前津究副委員長）では、去る七月十九日より二十日の日程で北海道稚内市を訪問し、三つの事業を中心に行政視察を行いました。

同市では、①「環境都市宣言にかかる取り組み」について、年間風速七メートルの自然条件を生かした宗谷岬ウインドファームや太陽光のメガソーラー発電所を視察するとともに、生ごみ中間施設、雪氷冷熱貯蔵庫など



稚内市で説明を受ける経済民生委員会

の自然エネルギーへの取り組みについて説明を受けました。

また、②スポーツ合宿誘致推進事業では、誘致推進協議会（構成九団体）における誘致活動の経済的効果と実施団体と市民との交流の様子、これまでの課題について伺いました。

③開業医誘致事業では、市立病院の医師不足の状況や開業医の減少傾向に歯止めを掛ける同事業の取り組みの中から、両市の医師不足の問題に活発な意見交換が行われました。

建設土木委員会

建設土木委員会（仲嶺忠師委員長）では、去る七月十九日より二十日の日程で北海道稚内市を訪問し、①稚内マリンタウン

プロジェクトの取り組み、②稚内港湾施設、③太陽光発電（メガソーラー発電所）について行政視察を行いました。

稚内マリンタウンプロジェクトの取り組みでは、稚内港北地区の再生を目的に、交流空間を形成し、駅前再開発事業と連携した地域活性化策について説明を受けました。

また、稚内港の末広地区の現地視察においては、三万トンまでの貨物船が対応できる岸壁や天北地区にある多数のけい留施設、フェリー、漁船など各種大型船を利用した効率的な輸送状況を確認できました。



視察団を代表し、あいさつをする仲嶺忠師委員長